

I 本校の研究

1 研究主題

「各教科等を合わせた指導における、学習評価に基づく子どもが主体的に活動できる授業づくり」
－「単元計画表」「PDCAサイクルシート」「流れ図」の効果的な活用について－

2 研究主題について

本校は、平成30年度より「各教科等を合わせた指導における、子どもが主体的に活動できる授業づくり」を研究テーマに三カ年計画で取り組んだ。本研究では各教科等を合わせた指導（以下、合わせた指導と表記する）の授業づくりを、学習指導要領で示された規定に則って見直し再整理すると共に、学習評価に基づく授業改善を通して、根拠のある合わせた指導の在り方を検討することを目的に取り組んできた。一年目は、平成29年4月に公示された幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領（以下、小・中学学習指導要領と表記する）に示された内容に則って、本校の教育課程の中心に据えられている合わせた指導について、その目標と評価に重点を置いて整理及び見直しを行った。二年目は、学習評価を重視したPDCAサイクルの構築を目指し、その過程を可視化し、合わせた指導の授業づくりに役立つツールとして「PDCAサイクルシート（以下、Pシート）」を作成し、実際に「Pシート」を活用した授業づくりを行った。三年目は、「Pシート」を用いて可視化した個々のC（学習評価）やA（授業改善）を集約し、次単元のP（授業計画）に至るまでの手続きを教師間で共有するために、「前単元の授業改善から次単元の授業計画までの流れ（以下、流れ図）」を作成し、「Pシート」に加え「流れ図」を用いて次単元の評価規順や授業内容、構成等の計画を行った。合わせて、単元計画表の書式を見直した。これまでの三年間の研究の成果は、次の三つである。一つ目として、合わせた指導において「Pシート」を用いて評価規準と評価基準を設定することで、授業者が同じ視点で評価することができ、評価の妥当性を高めることができた。また、児童生徒の姿を多面的に捉えて、目標設定や学習評価を行うことができるようになった。二つ目は、本研究で学習指導要領の規定に則って合わせた指導を見直した結果、合わせる教科等の関連性について整理することができ、合わせて指導を行うことの効果を確認することができた。三つ目は、「流れ図」を用いて学習評価や授業改善を可視化することで、次単元では各教科等の視点で何をねらいにするのか、どのように展開するのか等が明確になり、次単元を設定する理由や合わせた指導の考え方の整理につながったという点である。一方で、課題として大きく以下の二点が挙げられる。一点目は、「単元計画表」「Pシート」「流れ図」（以下、各ツールと表記する）を活用した授業づくりの定着と書式の改善である。二点目は、学習指導要領解説の総則編第2章第3節（3）で示されているように各教科等の目標の系統性に配慮し、指導の順序や指導の時間配当等を明らかにすること、また、個々の児童生徒に必要な自立活動の指導目標及び指導内容との関連性を明確に示すことについては十分至ることができなかった。

これまでの研究の成果と課題を踏まえ、今年度は「各教科等を合わせた指導における、学習評価に基づく子どもが主体的に活動できる授業づくり」を研究主題とし、小学部と中学部は生活単元学習、高等部では作業学習で授業づくりを行う。過去三年間で考案した各ツールを継続的に活用し、学習評価に基づく授業改善に取り組み、合わせた指導において、子どもが主体的に活動できる授業づくりを実践する。また、より効果的にかつ継続的に各ツールを活用することができるように、各書式の関連性を明確にし、記載項目や内容の精選をするなど簡略化についても検討を行う。

3 今年度の研究の目的

- ・平成30年度～令和2年度までの研究を踏まえ、「単元計画表」、「Pシート」「流れ図」を継続的に活用することで、全教員が三つのツールを作成し活用する目的や児童生徒の支援を共有し、学習評価に基づく授業改善を通して合わせた指導における、子どもが主体的に活動できる授業づくりの実践を行う。
- ・各ツール（「単元計画表」「Pシート」「流れ図」）の活用の効果の検証と書式の見直しを行う。

4 研究の取り組み

・「単元計画表」の作成と活用

各学部の合わせた指導で単元計画表を作成する際に、単元を構成する各教科等を授業者で検討し、記載する。単元終了後に、各教科等を合わせたことの効果を、各教科等の目標や内容が達成できたかという視点や、子どもが主体的に活動できたかどうかという視点で振り返りを行う。個の「Pシート」のC（学習評価）やA（授業改善）を集約し、本単元で学んだ各教科等を今後どのように学んでいくか記録し、次の単元のP（授業計画）へつなげる。

・「Pシート」、「流れ図」の作成と活用

「Pシート」を作成では、単元全体の評価規準と個の評価基準において、各教科等の内容を記載し、どのような支援があっただけだったのかを記録する。また、「流れ図」を活用し、次単元では各教科等の視点で何をねらいにするのか、どのように展開するのか等を明確にする。

・各ツール（「単元計画表」、「Pシート」、「流れ図」）の書式の関連性の効果の検証と簡略化の検討

一学期末、二学期末に全職員を対象にアンケートを実施し、各ツールの書式の活用の効果の検証と、書式の見直しを行う。

・学部授業研究会（小学部・中学部）

一学期に中学部、二学期に小学部で1回ずつ学部授業研究会を行い、子どもが主体的に活動できる授業づくりができていくのかについて教員間で協議し、校内の助言者より指導を受ける。

・全校授業研究会（高等部）

12月に全校授業研究会を行い全教員で協議するとともに、外部講師を招聘し指導を受ける。

5 研究のすすめ方

（1）研究組織

- <全体研究会> 全校、各学部の研究の取り組みやまとめ、次年度の研究内容についての協議
- <研究推進委員会> 研究の内容、方向性、紀要の内容、全体授業研究会について検討
構成メンバーは校長、教頭、主幹教諭、教務主任、副教務主任、学部主事、研究推進係
- <研究推進係会> 研究計画の作成、各学部の研究の進捗状況等情報共有、紀要作成、研究資料の整理と保管、全体研究会、職員全体研修会、研究推進委員会の企画、運営
構成メンバーは研究主任と各部の研究推進係
- <学部研究会> 各学部で計画し、運営

(2) 授業研究会

○学部授業研究会

- (小学部) 生活単元学習 11月29日(月) *助言者: 校内管理職(渡邊比呂子教頭)
(中学部) 生活単元学習 7月6日(火) *助言者: 校内管理職(渡邊比呂子教頭)

○全校授業研究会

- (高等部) 作業学習 石けん班 12月13日(月)
<講師> 聖徳大学 教授 堀子 榮 先生

(3) 全校研修会

*今年度は中止

(4) 研究のまとめと研究紀要

一年間の取り組みを記載する。(学習指導案、教材・教具の写真、各ツールの新書式)

(5) 研究年間計画

月日	曜日	内 容	
4月5日	月	研究推進係会	今年度の研究の方向性の確認①
4月20日	火	研究推進係会	今年度の研究の方向性の確認② 4/27学部研究会の確認
4月26日	月	研究推進係会	研究推進委員会①に向けての確認
4月27日	火	学部研究会	*新転任職員対象 本校の研究について(三年間の研究のあゆみ)
5月18日	火	研究推進委員会①	今年度の研究計画について
5月24日	月	研究推進係会	全体研究会①に向けての確認、6月の学部研究会のすすめ方
5月25日	火	全体研究会①	今年度の研究計画について
6月8日	火	学部研究会	各ツールについて
6月22日	火	学部研究会	「単元計画表」「Pシート」作成
6月28日	月	研究推進係会	各学部の進捗状況の情報共有、7月の学部研究会のすすめ方
7月6日	火	中学部内授業研究会	中学部1年生 生活単元学習 授業研究会
7月13日	火	学部研究会	学習評価、「流れ図」の作成、授業の振り返り
8月4日	水	研究推進係会	研究推進委員会②に向けての確認(1学期のまとめと今後のすすめ方)
8月30日	月	研究推進委員会②	1学期までの研究の成果と課題、2学期以降の研究について
9月14日	火	学部研究会	各ツールを活用した授業づくり
9月27日	月	研究推進係会	各学部の進捗状況の情報共有、10月の学部研究会のすすめ方
9月28日	火	学部研究会	各ツールを活用した授業づくり
10月12日	火	学部研究会	各ツールを活用した授業づくり
10月25日	月	研究推進係会	各学部の進捗状況の情報共有、11月の学部研究会のすすめ方
10月26日	火	学部研究会	各ツールを活用した授業づくり
11月9日	火	学部研究会	各ツールを活用した授業づくり

1 1月 22日	月	研究推進係会	各学部の進捗状況の情報共有、12・1月の学部研究会のすすめ方
1 1月 29日	月	小学部部内授業研究会	小学部2年生 生活単元学習 授業研究会
1 1月 30日	火	学部研究会	各ツールを活用した授業づくり
1 2月 7日	火	学部研究会	高等部 作業学習（石けん班）授業ビデオ参観（小・中）
1 2月 13日	月	全校授業研究会	高等部 作業学習（石けん班）授業研究会
1月 7日	金	研究推進係会	紀要執筆計画、研究のまとめに向けて（アンケートの集計等）
1月 11日	火	学部研究会	研究のまとめ（各ツールの書式の見直し）
1月 24日	月	研究推進係会	研究紀要原稿の作成
2月 1日	火	研究推進係会	研究紀要原稿の検討
2月 2日	水	学部研究会	研究紀要原稿の確認、新書式の検討
2月 21日	月	研究推進係会	研究紀要原稿の確認、次年度の研究の方向性について検討
3月 8日	火	学部研究会	次年度の年間指導計画の検討
3月 15日	火	研究推進委員会③	本年度の研究のまとめ及び次年度に向けて
3月 24日	木	全体研究会②	本年度の研究のまとめ及び次年度に向けて

※学部研究会は基本第2、第4火曜日に行う。

※研究推進係会は第4月曜日に行う。

※研究推進委員会は、年三回（学期に一回）行う。